学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	104「高等学校　数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	４プロセス　数学Ⅱ＋B+C　数列　統計的な推測　ベクトル（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Ⅱ、数学Ｂから続く分野です。ベクトル、平面上の曲線、複素数平面について学びます。好奇心をもって取り組んで下さい。
・あきらめずに課題に取り組み、周りの人と協働で考える活動に取り組んでください。
・問題集用のノートを用意して下さい。家庭学習における課題として定期的に点検します。
・毎授業のまとめをして、知識の整理をしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトル・平面上の曲線・複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ベクトル・平面上の曲線・複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ベクトル	平面上のベクトル 位置ベクトル ベクトル方程式 　空間におけるベクトル	a:平面上のベクトルの意味・相等・和・差・実数倍・位置ベクトル・ベクトルの成分表示・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b:実数などの演算法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。ベクトルやその内積の性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだし考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 c:事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

	平面上の曲線	2次曲線 媒介変数表示と極座標	a:放物線・楕円・双曲線が 2 次式で表されること及びそれらの 2 次曲線の基本的な性質について理解している。曲線の媒介変数表示について理解している。極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。 b:放物線・楕円・双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用することができる。 c:事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価･改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察
3学期	複素数平面	複素数平面	a:複素数平面と複素数の極形式及び複素数の実数倍・和・差・積・商の図形的な意味を理解している。ド・モアブルの定理について理解している。 b:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 c:事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価･改善しようとしている。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

	問題演習	数学実践問題	a: 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 b: 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 c: 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	確認テスト 単元テスト 定期テスト	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度